

農家の挑戦と、JAのサポート。 その両方が、ブランド芋を育てている。

丸級共販

短手
L・M



なるほどJA!

いいものを協同でつくり、売る。「JAの販売事業」

フォークリフトが行き交い、段ボール箱が、パズルのように積み上げられています。中には、紫に輝くサツマイモ。徳島県鳴門市のJA里浦では「なる」と金時のブランド「里むすめ」が出荷のピークを迎えています。

里浦特有の水はけのいい土地と海の砂のミネラルが育んだ、冷めてもおいしい里むすめ。

実は、販売する方法にも特徴があります。

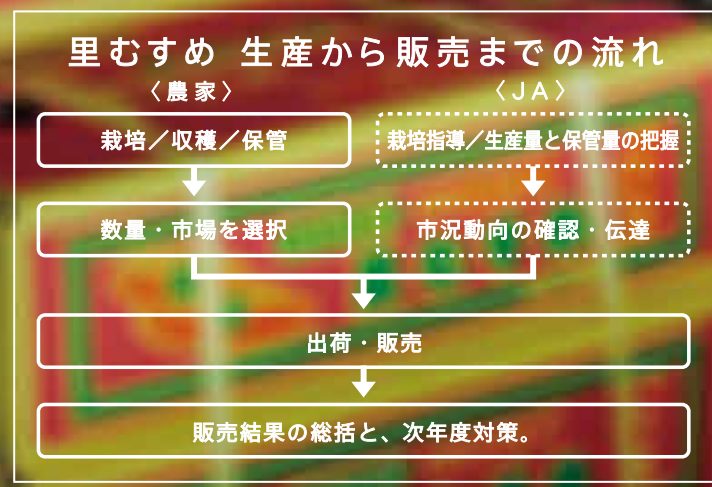
JAが市場へまとめて出荷する「共販」だけでなく、個人で市場を選び、品質が良いほど高く売れる「個販」も、農家を選択できるのです。

「JAが共販による安定出荷で支えてくれるから、個販にも挑戦できる」

農家の方は、そう語ってくれました。

いいものをみんなでつくり売る。個人がさらに品質を上げて売る。その環境が、里むすめのブランド力を保っているのです。

JAは、つくり方はもちろん、売り方にも工夫をこらし、農家の経営を支えています。



大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ



JAPAN EXPO 2015 MILANO

JAグループは「2015年ミラノ万博日本館」に協賛しています。

JAグループ 秋の大収穫祭 プレゼントキャンペーン実施中。くわしくは

JA きずな

検索